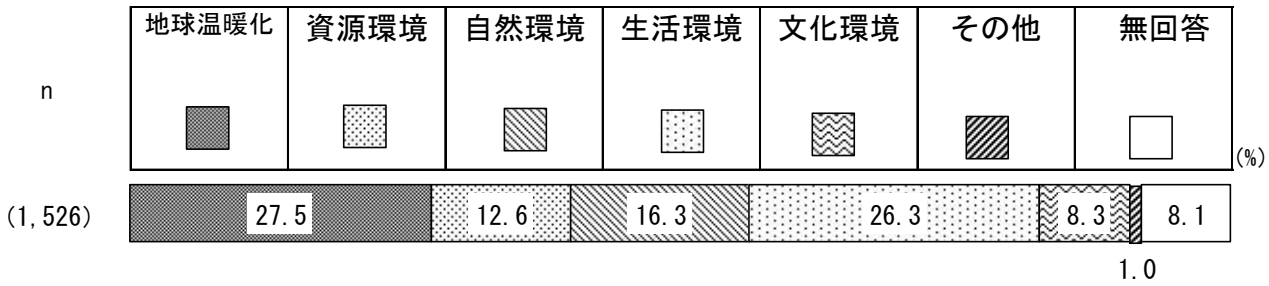
7　環境について

（1）　環境についてあなたが最も関心のある項目

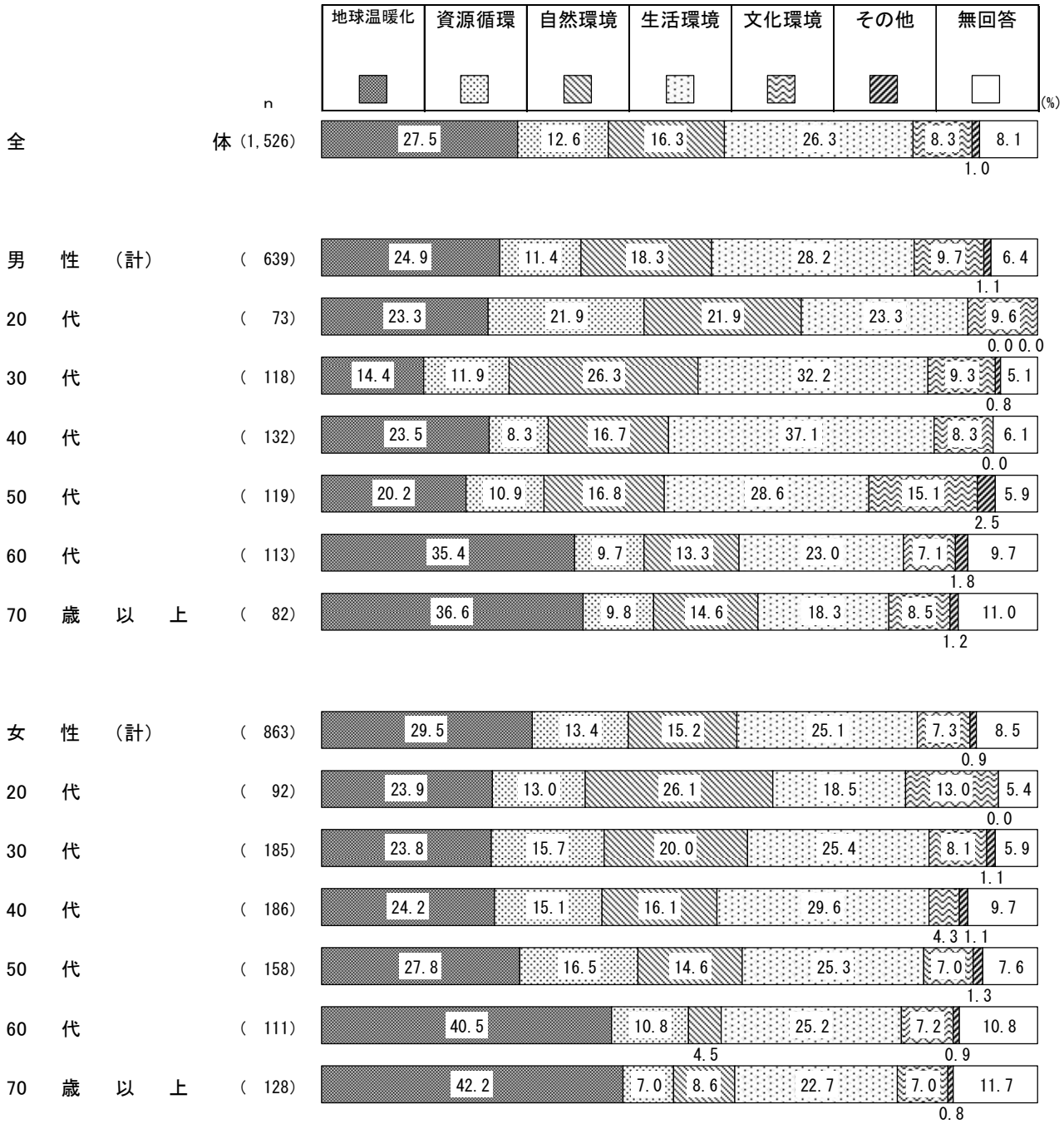
問 15　（すべての方に）環境について、あなたが最も関心のある項目を選んでください。
（○は１つ）

【環境についてあなたが最も関心のある項目（全体）】



全体でみると、「地球温暖化」が 27.5%で最も高く、次いで「生活環境」(26.3%)、「自然環境」(16.3%)、「資源環境」(12.6%)、「文化環境」(8.3%) の順となっている。

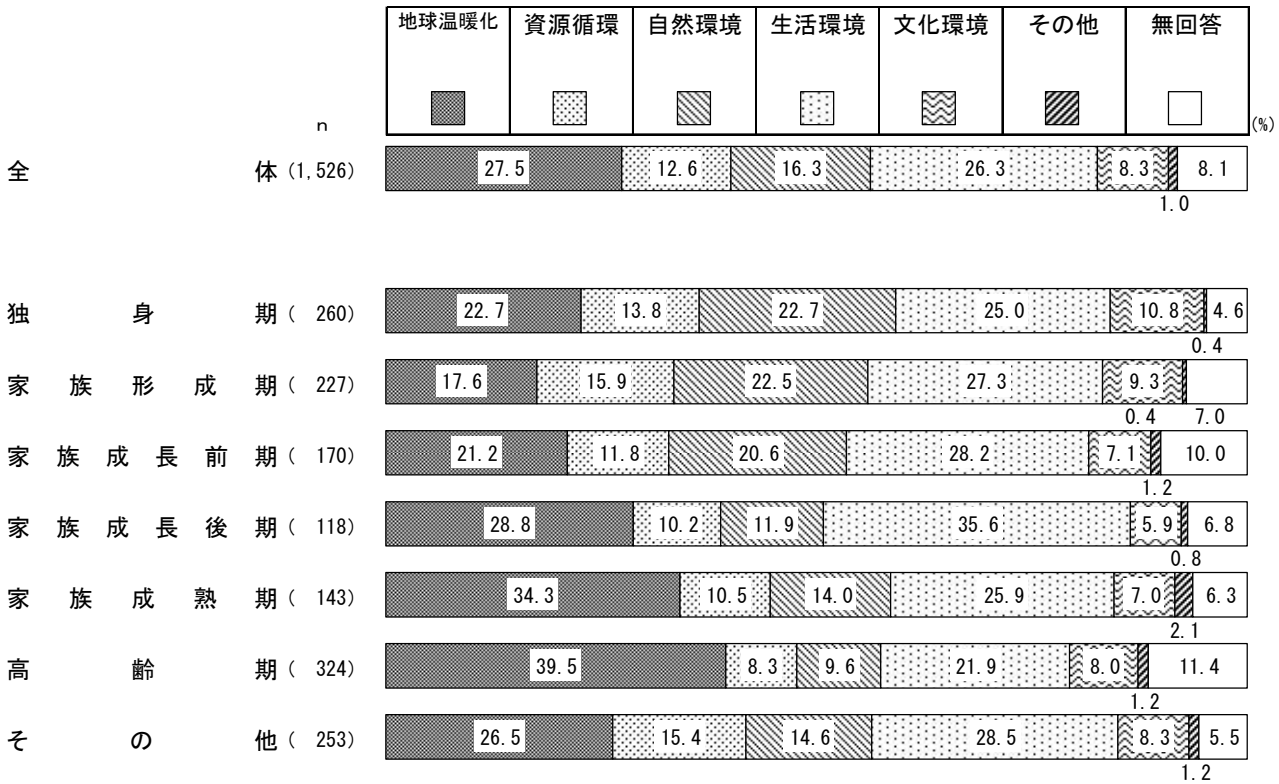
【環境についてあなたが最も関心のある項目（性／年代別）】



性別にみると、「地球温暖化」（男性 24.9%、女性 29.5%）で 4.6 ポイント、男性より女性のほうが高くなっている。

性／年代別にみると、「地球温暖化」は男女ともに 60 代～70 歳以上で３割を超えており、女性 70 歳以上（42.2%）で４割強と最も高くなっている。

【環境についてあなたが最も関心のある項目（ライフステージ別）】

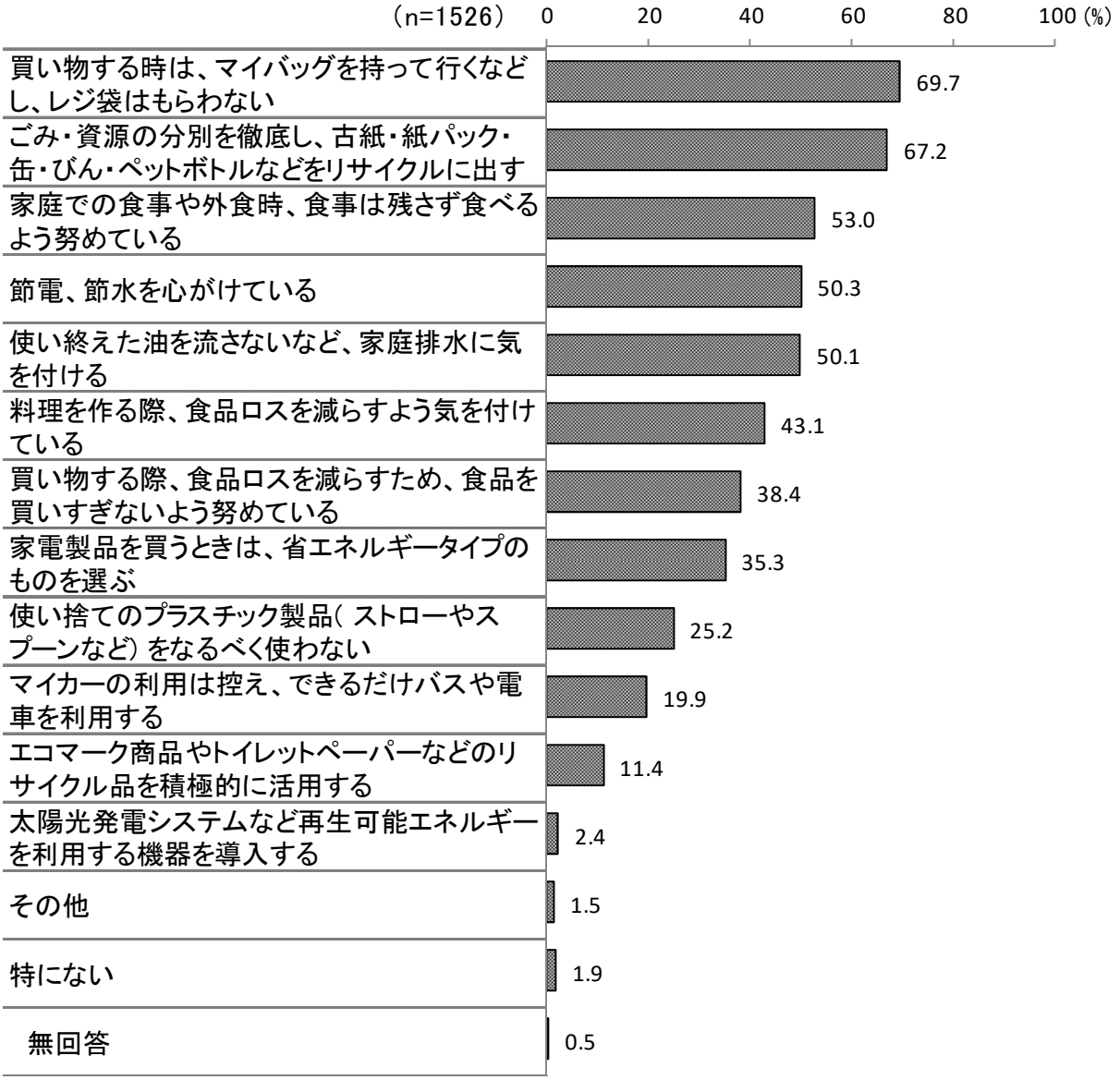


ライフステージ別にみると、「地球温暖化」は高齢期（39.5%）で４割弱と最も高く、「生活環境」は家族成長後期（35.6%）で３割半ばと最も高くなっている。

（２） 環境を守るために日常生活で心がけていること

問 16 （すべての方に）あなたの家庭では、環境を守るために日常生活で心がけていることがありますか。（○はいくつでも）

【環境を守るために日常生活で心がけていること（全体）】



全体でみると、「買い物する時は、マイバッグを持っていくなどし、レジ袋はもらわない」が69.7％で最も高く、次いで「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」（67.2％）、「家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている」（53.0％）、「節電、節水を心がけている」（50.3％）、「使い終えた油を流さないなど、家庭排水に気を付ける」（50.1％）の順となっている。

【環境を守るために日常生活で心がけていること（性／年代別、ライフステージ別）】

（%）

属性＼項目	n	買い物する時は、マイバッグを持って行くなどし、レジ袋はもらわない	ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す	家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている	節電、節水を心がけている	使い終えた油を流さないなど、家庭排水に気を付ける	料理を作る際、食品ロスを減らすよう気を付けている	買い物する際、食品ロスを減らすため、食品を買いすぎないよう努めている	家電製品を買うときは、省エネルギータイプのものを選ぶ	使い捨てのプラスチック製品（スプーンなど）をなるべく使わない	マイカーの利用は控え、できるだけバスや電車を利用する	エコマーク商品やトイレットペーパーなどのリサイクル品を積極的に活用する	太陽光発電システムなど再生可能エネルギーを利用する機器を導入する	その他	特にない	無回答
全体	(1,526)	69.7	67.2	53.0	50.3	50.1	43.1	38.4	35.3	25.2	19.9	11.4	2.4	1.5	1.9	0.5
2018（平成30）年	(1,068)	16.0	73.6	16.8	89.0	17.4	13.0		15.7		8.8	23.4	3.8	1.2	1.9	1.2
【性／年代別】																
男性（計）	(639)	59.0	62.8	52.6	50.2	37.9	33.0	31.8	30.2	20.5	22.7	8.0	3.4	0.6	3.6	0.5
20代	(73)	49.3	37.0	56.2	49.3	30.1	31.5	26.0	11.0	15.1	13.7	1.4	1.4	0.0	6.8	0.0
30代	(118)	57.6	55.1	56.8	44.1	40.7	37.3	33.1	16.9	13.6	24.6	7.6	3.4	0.0	2.5	0.0
40代	(132)	53.0	62.1	53.0	42.4	35.6	29.5	34.1	28.8	23.5	21.2	6.8	0.0	1.5	3.8	0.0
50代	(119)	63.9	66.4	52.9	56.3	38.7	39.5	31.9	39.5	21.8	23.5	10.1	7.6	0.8	3.4	0.0
60代	(113)	61.9	72.6	46.0	54.0	36.3	27.4	29.2	41.6	22.1	25.7	9.7	4.4	0.0	2.7	0.9
70歳以上	(82)	67.1	79.3	52.4	58.5	43.9	32.9	35.4	40.2	26.8	25.6	11.0	3.7	1.2	3.7	2.4
女性（計）	(863)	78.2	70.7	53.4	50.2	59.1	50.8	43.3	38.8	28.7	18.0	13.7	1.6	2.2	0.7	0.2
20代	(92)	67.4	43.5	57.6	47.8	34.8	31.5	32.6	12.0	13.0	9.8	2.2	2.2	0.0	1.1	0.0
30代	(185)	75.7	60.0	59.5	41.6	58.4	53.0	40.5	28.1	22.2	18.4	6.5	0.5	2.2	1.6	0.0
40代	(186)	76.9	73.7	50.0	48.9	61.8	54.8	45.2	40.9	34.9	21.0	15.1	1.6	3.8	0.5	0.0
50代	(158)	81.6	80.4	55.1	51.9	60.8	53.8	44.3	46.8	31.0	19.6	16.5	1.3	2.5	0.6	0.0
60代	(111)	85.6	81.1	45.9	54.1	69.4	49.5	51.4	49.5	34.2	18.0	18.9	2.7	1.8	0.0	0.0
70歳以上	(128)	81.3	80.5	50.8	61.7	62.5	53.9	45.3	52.3	32.0	17.2	22.7	2.3	1.6	0.0	1.6
【ライフステージ別】																
独身期	(260)	59.2	45.8	55.0	42.7	37.3	32.3	29.2	14.6	19.2	15.0	4.6	1.9	0.8	3.5	0.4
家族形成期	(227)	72.2	59.5	55.9	43.2	53.7	48.9	39.6	29.5	17.2	17.6	5.3	0.4	0.9	1.8	0.0
家族成長前期	(170)	67.6	69.4	57.6	49.4	48.8	46.5	34.7	31.2	28.8	23.5	8.8	2.4	2.4	1.8	0.0
家族成長後期	(118)	72.0	72.9	58.5	56.8	62.7	49.2	42.4	45.8	28.8	27.1	14.4	4.2	3.4	0.0	0.0
家族成熟期	(143)	76.9	80.4	47.6	58.0	55.9	45.5	38.5	45.5	28.0	21.7	14.7	4.2	0.7	2.1	0.0
高齢期	(324)	76.2	77.8	49.7	58.3	55.2	42.9	41.4	48.1	28.7	21.6	16.4	2.8	1.2	1.2	1.2
その他	(253)	69.2	71.5	50.6	47.0	45.1	44.3	44.3	36.8	28.1	18.6	14.2	1.6	2.4	2.0	0.0

性別にみると、「買い物する時は、マイバッグを持っていくなどし、レジ袋はもらわない」（男性 59.0%、女性 78.2%）で 19.2 ポイント、「使い終えた油を流さないなど、家庭排水に気を付ける」（男性 37.9%、女性 59.1%）で 21.2 ポイント、男性より女性のほうが高くなっている。

性／年代別にみると、「使い終えた油を流さないなど、家庭排水に気を付ける」は女性 60 代（69.4%）で７割弱と最も高くなっている。

ライフステージ別にみると、「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」は家族成熟期（80.4%）で約８割と最も高くなっている。

【環境を守るために日常生活で心がけていること（性／年代別、ライフステージ別）
－上位６項目】

【性／年代別】

	n	買い物する時は、マイバッグを持って行くなどし、レジ袋はもらわない	ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す	家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている	節電、節水を心がけている	使い終えた油を流さないなど、家庭排水に気を付ける	料理を作る際、食品ロスを減らすよう気を付けている
全体	(1,526)	69.7	67.2	53.0	50.3	50.1	43.1
男性（計）	(639)	59.0	62.8	52.6	50.2	37.9	33.0
20代	(73)	49.3	37.0	56.2	49.3	30.1	31.5
30代	(118)	57.6	55.1	56.8	44.1	40.7	37.3
40代	(132)	53.0	62.1	53.0	42.4	35.6	29.5
50代	(119)	63.9	66.4	52.9	56.3	38.7	39.5
60代	(113)	61.9	72.6	46.0	54.0	36.3	27.4
70歳以上	(82)	67.1	79.3	52.4	58.5	43.9	32.9
女性（計）	(863)	78.2	70.7	53.4	50.2	59.1	50.8
20代	(92)	67.4	43.5	57.6	47.8	34.8	31.5
30代	(185)	75.7	60.0	59.5	41.6	58.4	53.0
40代	(186)	76.9	73.7	50.0	48.9	61.8	54.8
50代	(158)	81.6	80.4	55.1	51.9	60.8	53.8
60代	(111)	85.6	81.1	45.9	54.1	69.4	49.5
70歳以上	(128)	81.3	80.5	50.8	61.7	62.5	53.9

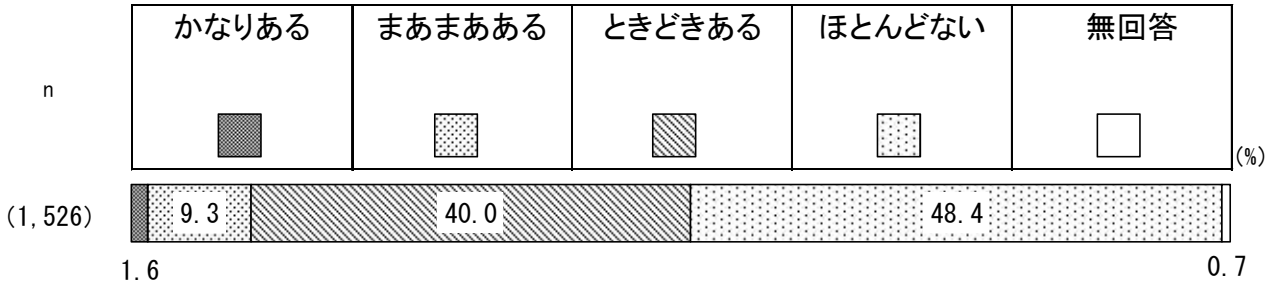
【ライフステージ別】

	n	買い物する時は、マイバッグを持って行くなどし、レジ袋はもらわない	ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す	家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている	節電、節水を心がけている	使い終えた油を流さないなど、家庭排水に気を付ける	料理を作る際、食品ロスを減らすよう気を付けている
全体	(1,526)	69.7	67.2	53.0	50.3	50.1	43.1
独身期	(260)	59.2	45.8	55.0	42.7	37.3	32.3
家族形成期	(227)	72.2	59.5	55.9	43.2	53.7	48.9
家族成長前期	(170)	67.6	69.4	57.6	49.4	48.8	46.5
家族成長後期	(118)	72.0	72.9	58.5	56.8	62.7	49.2
家族成熟期	(143)	76.9	80.4	47.6	58.0	55.9	45.5
高齢期	(324)	76.2	77.8	49.7	58.3	55.2	42.9
その他	(253)	69.2	71.5	50.6	47.0	45.1	44.3

（３） 家庭で食品がまだ食べられるのに捨ててしまった経験

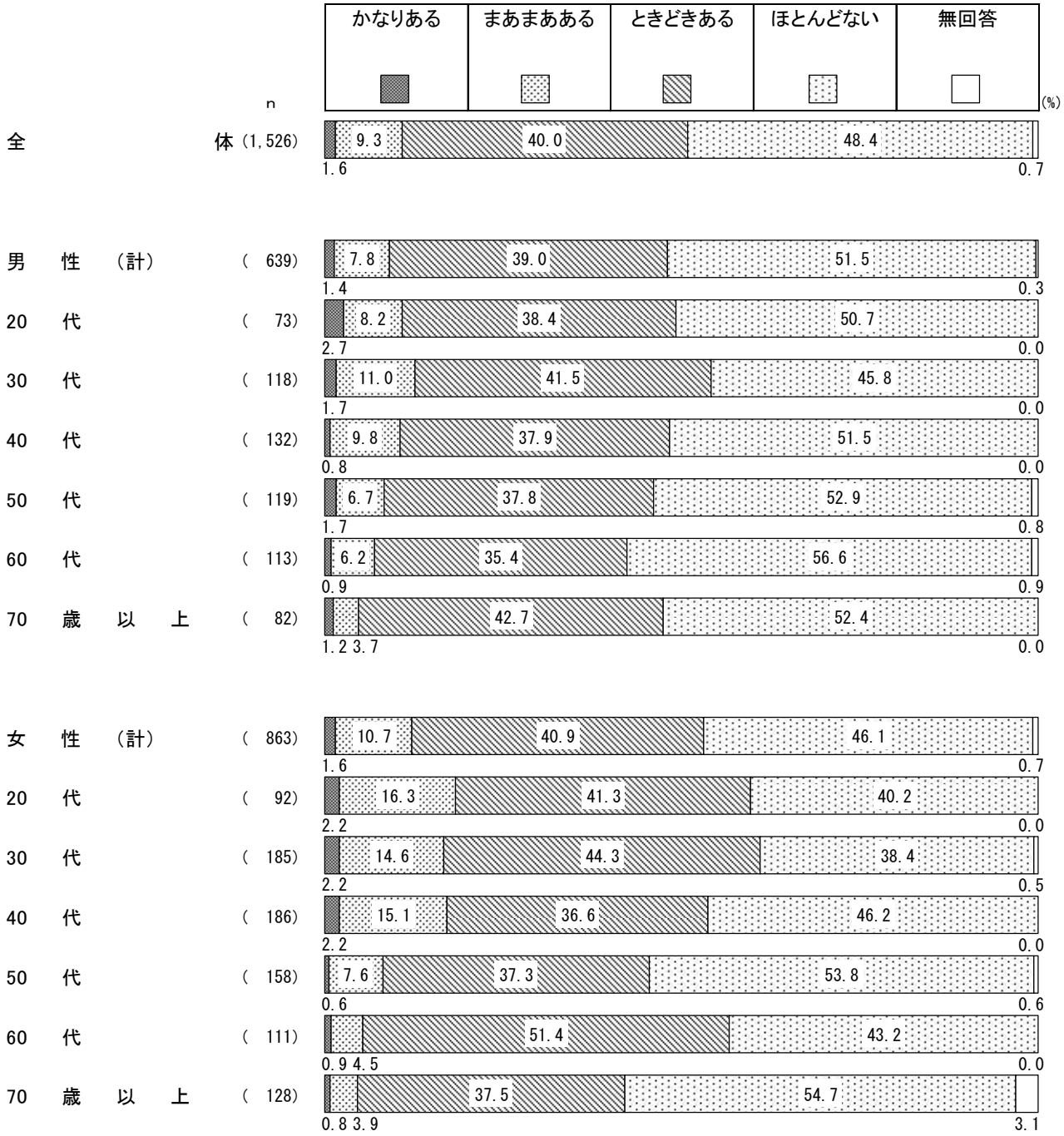
問 17 （すべての方に）賞味期限切れや食べ残し、調理過程での過剰除去などにより、まだ食べられるのに食品が捨てられてしまう問題があります。あなたの家庭においても、食品がまだ食べられるのに捨ててしまうことはありますか。（○は１つ）

【家庭で食品がまだ食べられるのに捨ててしまった経験（全体）】



全体でみると、「かなりある」が 1.6%、「まあまあある」が 9.3%、「ときどきある」が 40.0%となっている。一方、「ほとんどない」は 48.4%となっている。

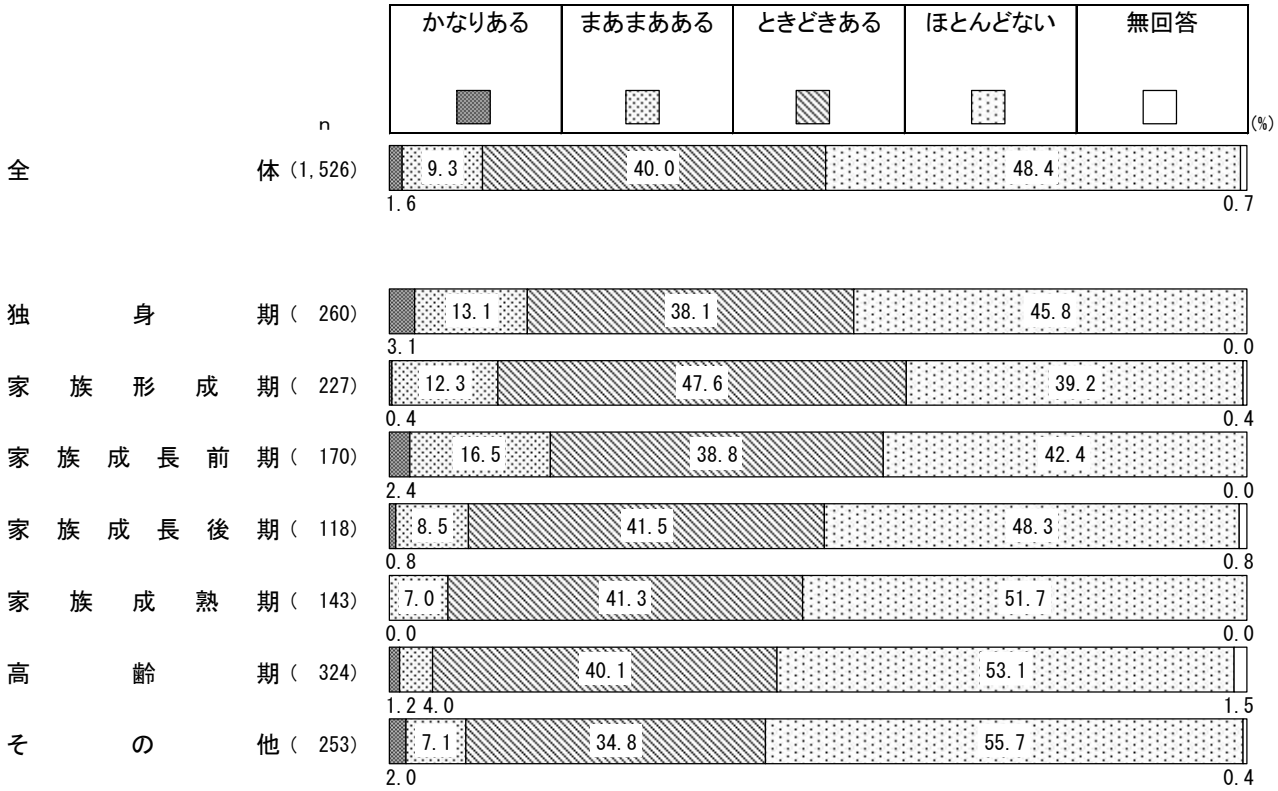
【家庭で食品がまだ食べられるのに捨ててしまった経験（性／年代別）】



性別にみると、「ほとんどない」（男性 51.5%、女性 46.1%）で 5.4 ポイント、女性より男性のほうが高くなっている。

性／年代別にみると、「まあまあある」は女性 20 代（16.3%）で、「ときどきある」は女性 60 代（51.4%）で、それぞれ最も高くなっている。

【家庭で食品がまだ食べられるのに捨ててしまった経験（ライフステージ別）】

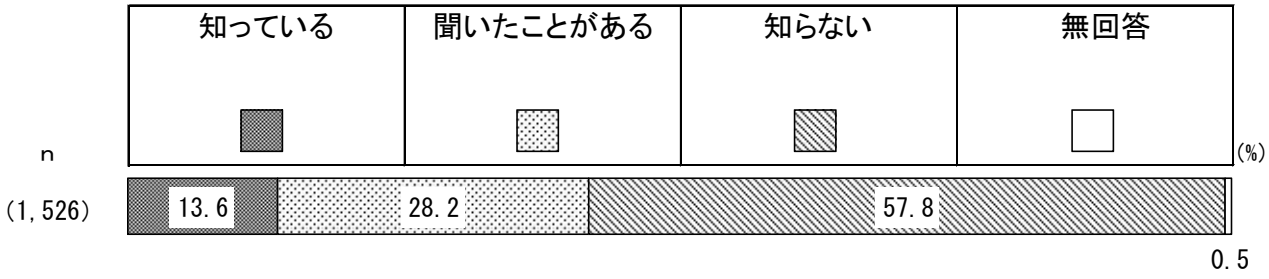


ライフステージ別にみると、「まあまあある」は家族成長前期（16.5%）で、「ときどきある」は家族形成期（47.6%）で、それぞれ最も高くなっている。

（４） フードドライブの認知度

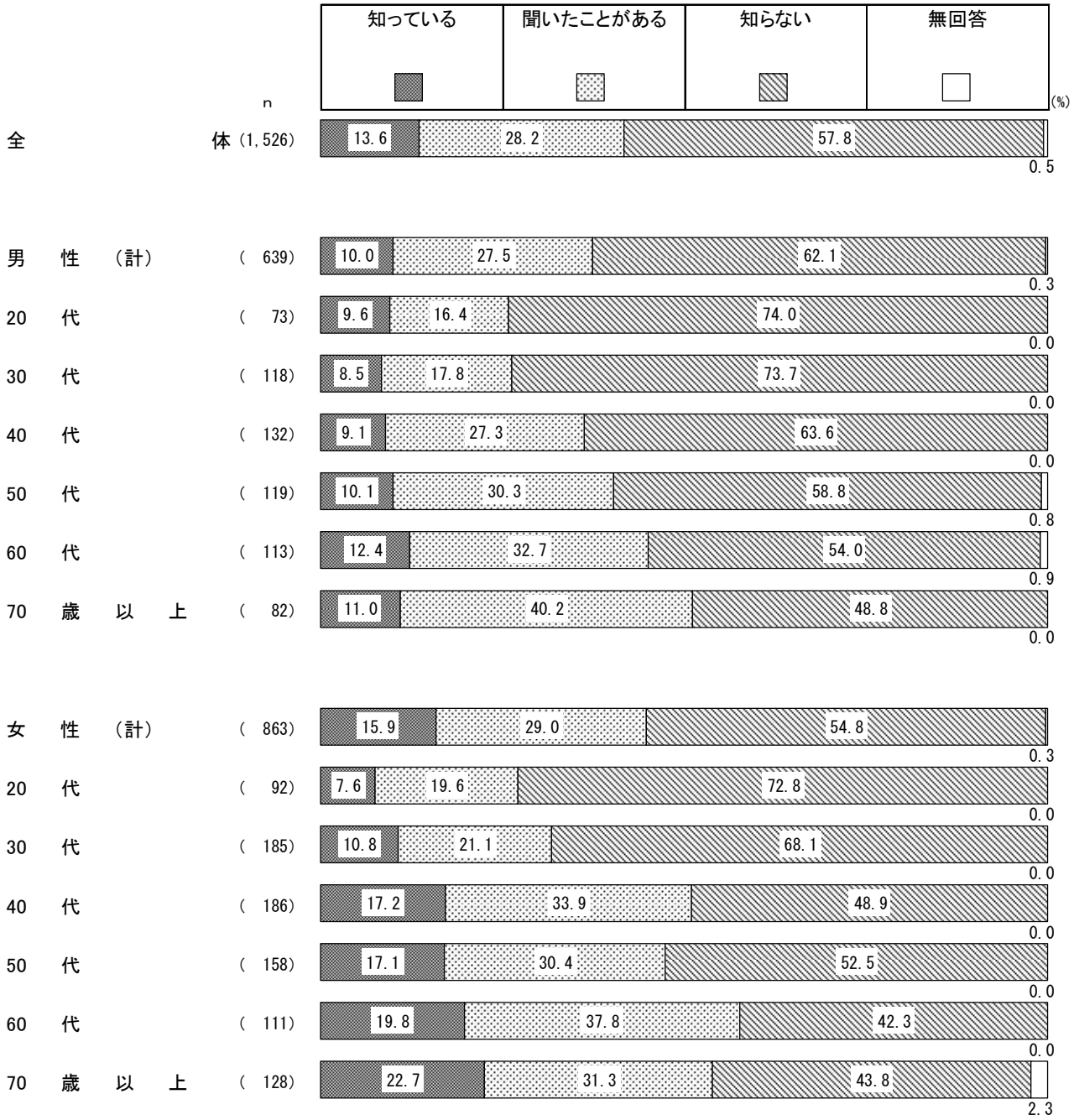
問 18 （すべての方に）使い切れない食品を寄付する行動をフードドライブといいます。あなたは、フードドライブを知っていますか。（○は１つ）

【フードドライブの認知度（全体）】



全体でみると、「知っている」が 13.6%、「聞いたことがある」が 28.2%、「知らない」が 57.8%となっている。

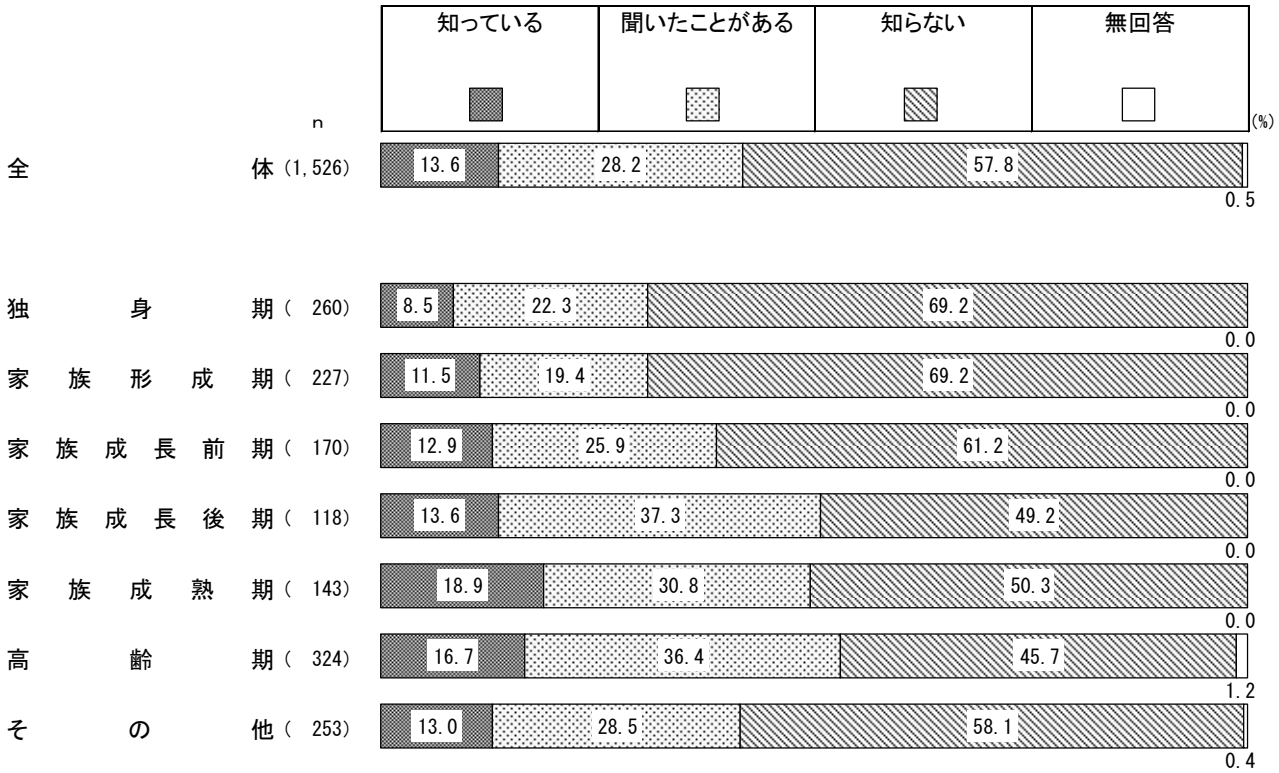
【フードドライブ認知度（性／年代別）】



性別にみると、「知っている」（男性 10.0%、女性 15.9%）で 5.9 ポイント、男性より女性のほうが高くなっている。

性／年代別にみると、「知っている」は女性 70 歳以上（22.7%）で、「聞いたことがある」は男性 70 歳以上（40.2%）で、それぞれ最も高くなっている。

【フードドライブ認知度（ライフステージ別）】

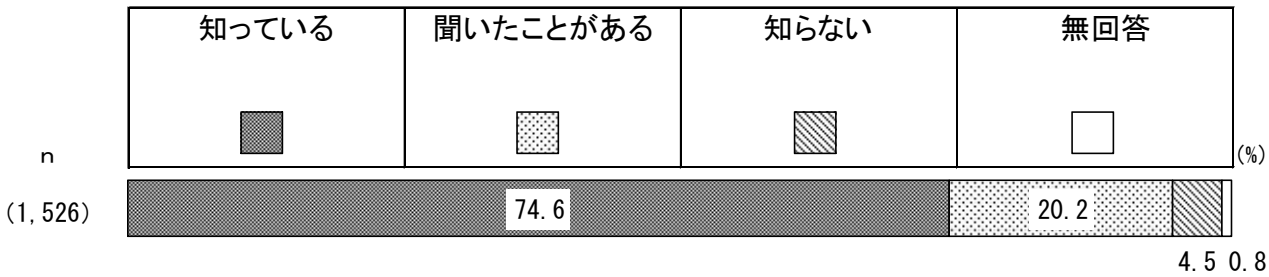


ライフステージ別にみると、「知っている」は家族成熟期（18.9%）で２割近くと最も高くなっている。

（５） 海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度

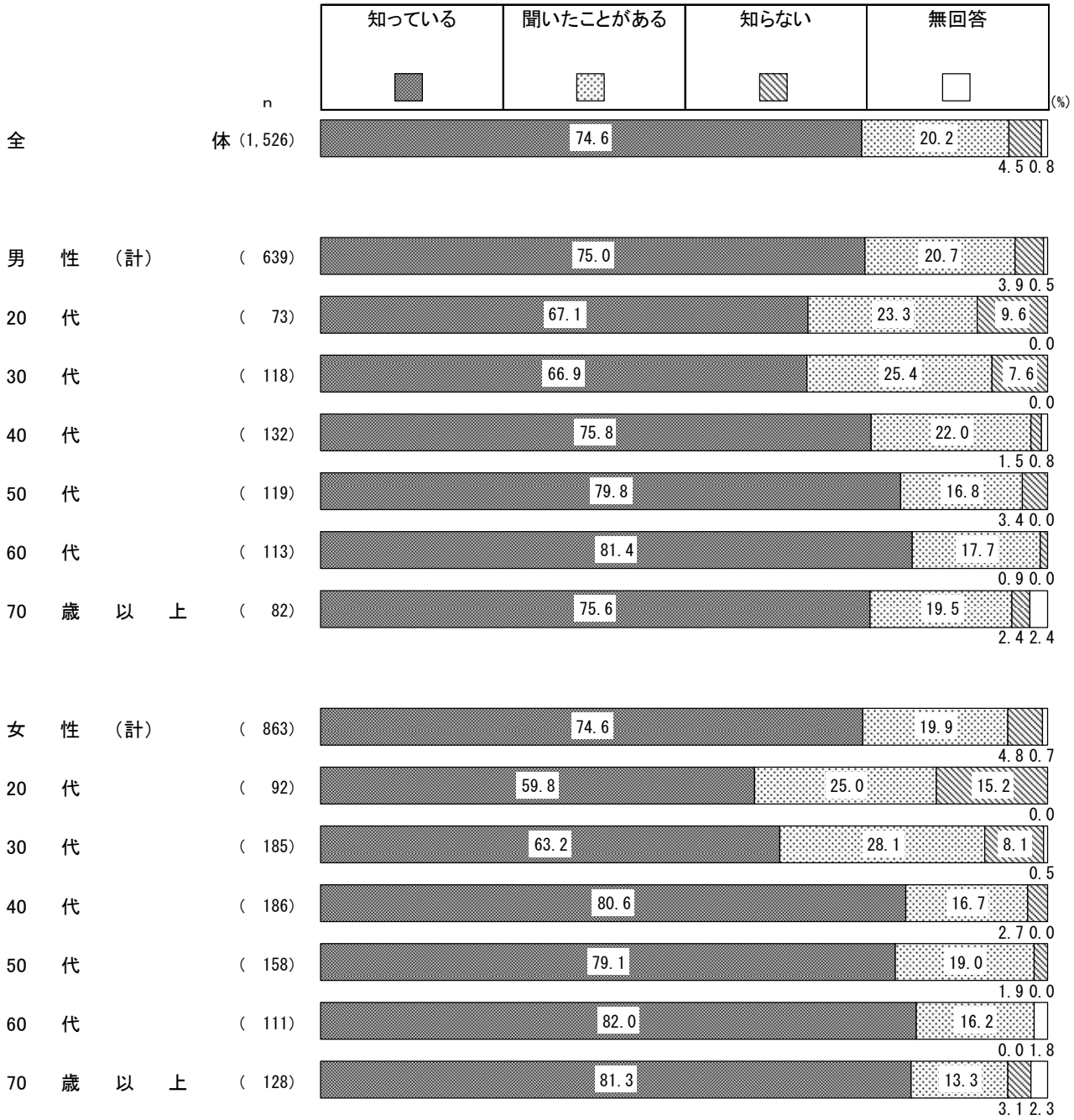
問 19 （すべての方に）適切に処理されず、河川などを通じて海へ流れ込んだプラスチックごみを「海洋プラスチックごみ」といいます。近年、「海洋プラスチックごみ」による海洋汚染や生態系への影響が懸念されていおり、世界的な課題となっています。
あなたは「海洋プラスチックごみによる環境汚染」を知っていますか。（○は１つ）

【海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度（全体）】



全体でみると、「知っている」が 74.6%、「聞いたことがある」が 20.2%、「知らない」が 4.5%となっている。

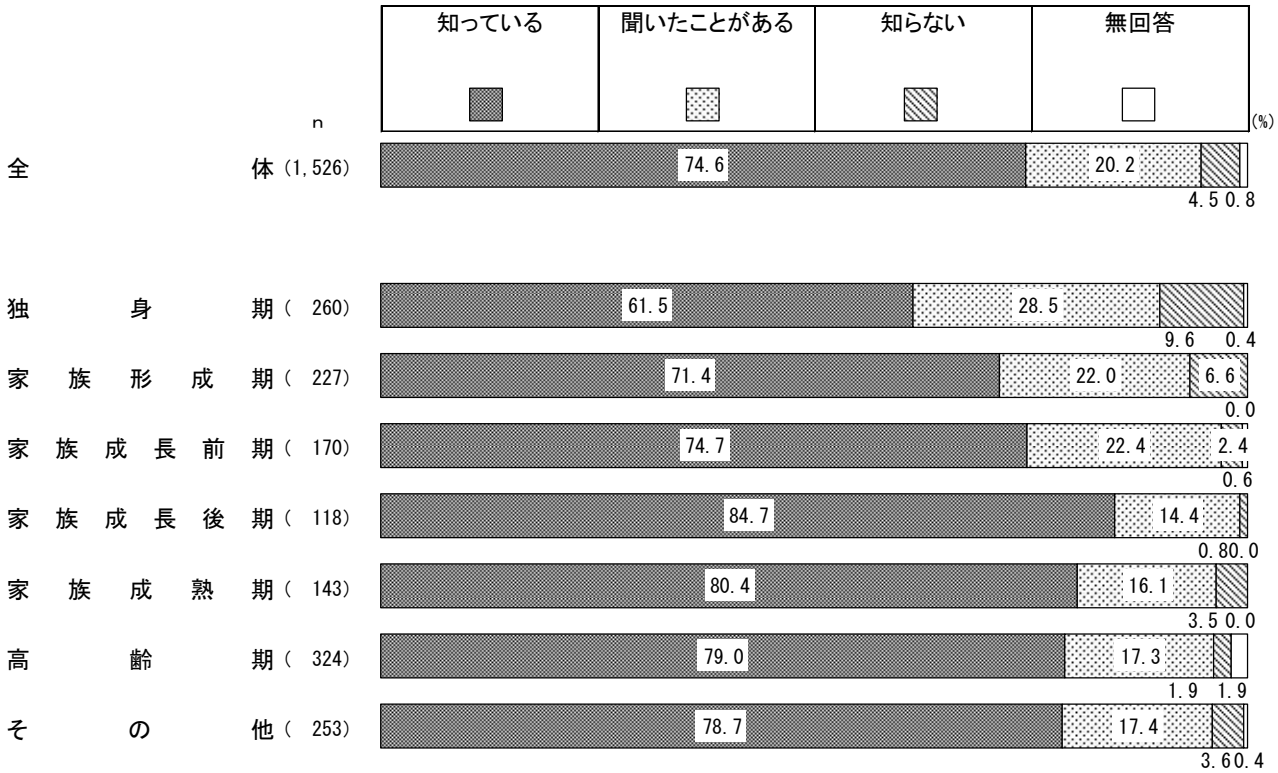
【海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度（性／年代別）】



性別にみると、男性と女性で大きな違いはみられない。

性／年代別にみると、「知っている」は男女ともに 40 代～70 歳以上で７割を超え、女性 60 代（82.0%）で最も高くなっている。

【海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度（ライフステージ別）】



ライフステージ別にみると、「知っている」は家族成長後期（84.7%）で８割半ば近くと最も高くなっている。